



2023年12月期

第4四半期 決算説明会

2023年11月9日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

- 01 今期の見通し
- 02 2023/12期 4Q累計期間連結決算概要
- 03 四半期連結決算概要
- 04 デジタルマーケティング事業
- 05 メディアプラットフォーム事業
- 06 株主還元方針の変更と業績予想に対する進捗状況
- 07 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

01

今期の見通し

3Qで売上高が反転、その後4Qで収益、 5QでNon-GAAP営業利益の反転を見込む

各科目の前期比増減率の推移と見通し（連結）

 反転時期

	FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	
売上高	+6.5%	-5.4%	+3.3%	増収幅拡大	2桁成長	増収
収益	+6.1%	-4.0%	-0.2%	増収転換	2桁成長	
販管費	+32.2%	+2.0%	+7.8%	増加幅縮小	増加幅縮小	巡航速度での増加
Non-GAAP 営業利益	-55.6%	-29.7%	-77.0%	減益幅縮小	増益転換	大幅増益

見通しに沿って4Qで増収転換、引き続き5Qでの増益転換を目指す

各科目の前期比増減率の推移と見通し（連結）

 反転時期

	FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	
売上高	+6.5%	-5.4%	+3.3%	増収幅拡大 +6.7%	2桁成長	増収
収益	+6.1%	-4.0%	-0.2%	増収転換 +3.0%	2桁成長	
販管費	+32.2%	+2.0%	+7.8%	増加幅縮小 +6.1%	増加幅縮小	巡航速度での増加
Non-GAAP 営業利益	-55.6%	-29.7%	-77.0%	減益幅縮小 -30.0%	増益転換	大幅増益

02

2023/12期 4Q累計期間連結決算概要

連結

収益は前期比で微増、
人的投資強化を中心に費用が増加し減益

収益

29,108百万円（YonY +**1.0%**）

Non-GAAP
営業利益

3,163百万円（YonY -46.0%）

1株当たり
四半期利益（EPS）

13.28円（YonY-17.26円）

デジタル
マーケ
ティング
事業

新規顧客の開拓が順調に進捗するも前期比で減収減益

収益 **25,191**百万円 (YoY-2.6%)Non-GAAP
営業利益 **6,453**百万円 (YoY-29.9%)メディア
プラット
フォーム
事業IPプラットフォーム事業のけん引により
前期比で増収、赤字幅縮小収益 **4,437**百万円 (YoY +**34.6%**)Non-GAAP
営業利益 **-544**百万円 (YoY 301百万円
赤字縮小)

うち新セグメントへの投資額 -33百万円

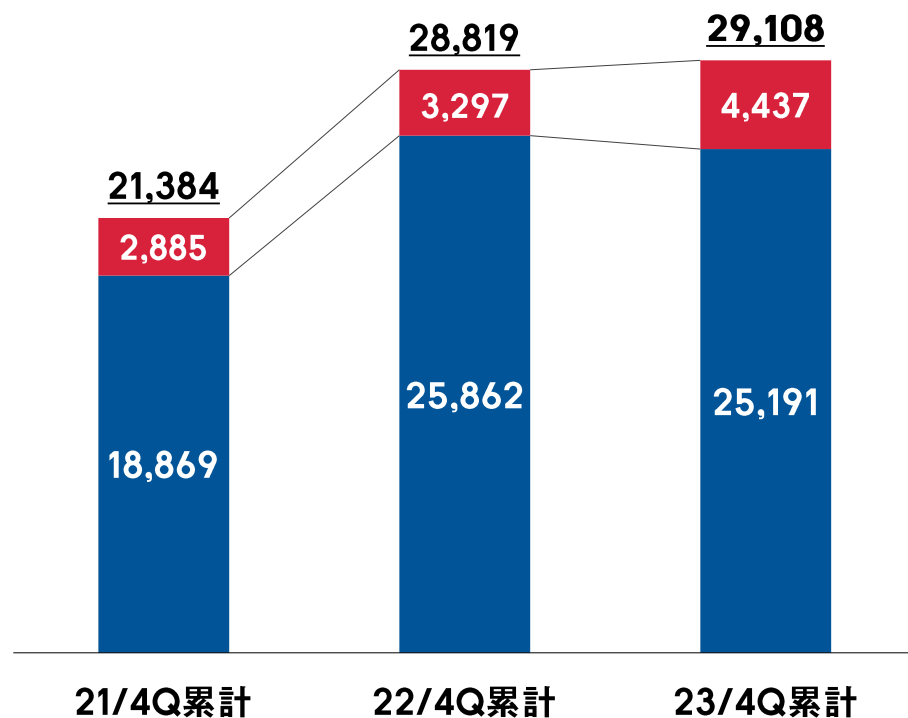
営業減益と金融収益の反動減によりEPSが低下

(単位：百万円)	2023年 12月期 4Q累計			2022/9期 4Q 累計	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	29,108	100.0%	+1.0%	28,819	100.0%
売上総利益	21,960	75.4%	-3.3%	22,720	78.8%
販売管理費	18,899	64.9%	+10.8%	17,058	59.2%
Non-GAAP営業利益	3,163	10.9%	-46.0%	5,855	20.3%
営業利益	3,023	10.4%	-44.4%	5,440	18.9%
金融収益	5	0.0%	-99.8%	2,069	7.2%
金融費用	209	0.7%	-37.4%	335	1.2%
持分法投資利益	1,356	4.7%	+27.2%	1,066	3.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,769	9.5%	-51.7%	5,734	19.9%
1株当たり四半期利益 (EPS)(円)	13.28	—	-17.26	30.54	—
【参考】 売上高	134,605	—	+2.4%	131,434	—

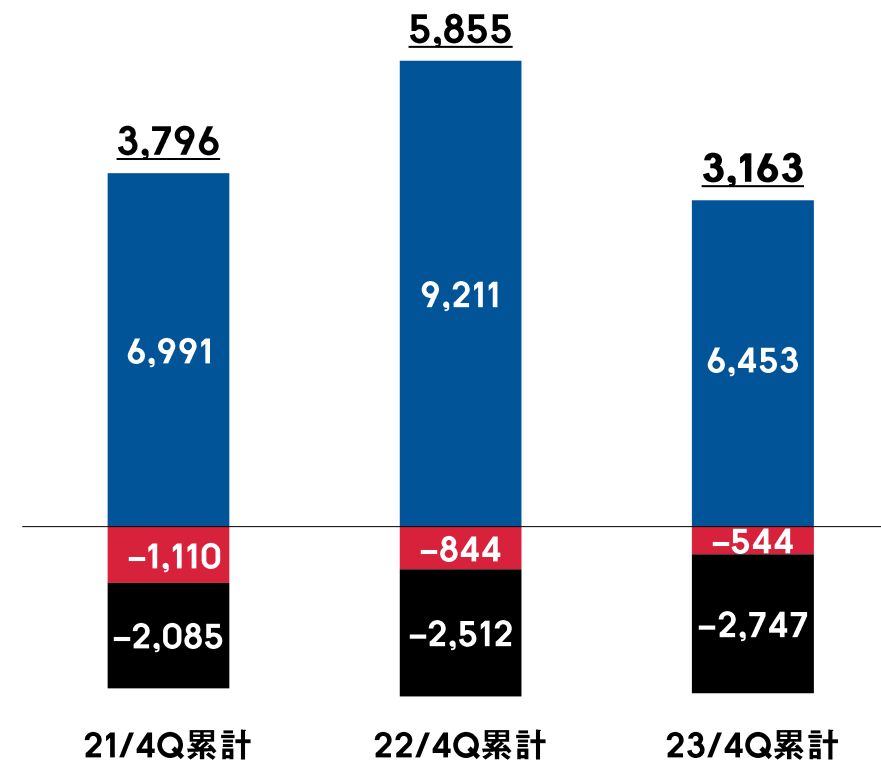
旧会計期間 (10-9月) においては過去最高の収益を更新

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額 (全社費用等) (単位: 百万円)

収益



Non-GAAP営業利益



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益 (下線付数値) は一致しない

03

四半期連結決算概要

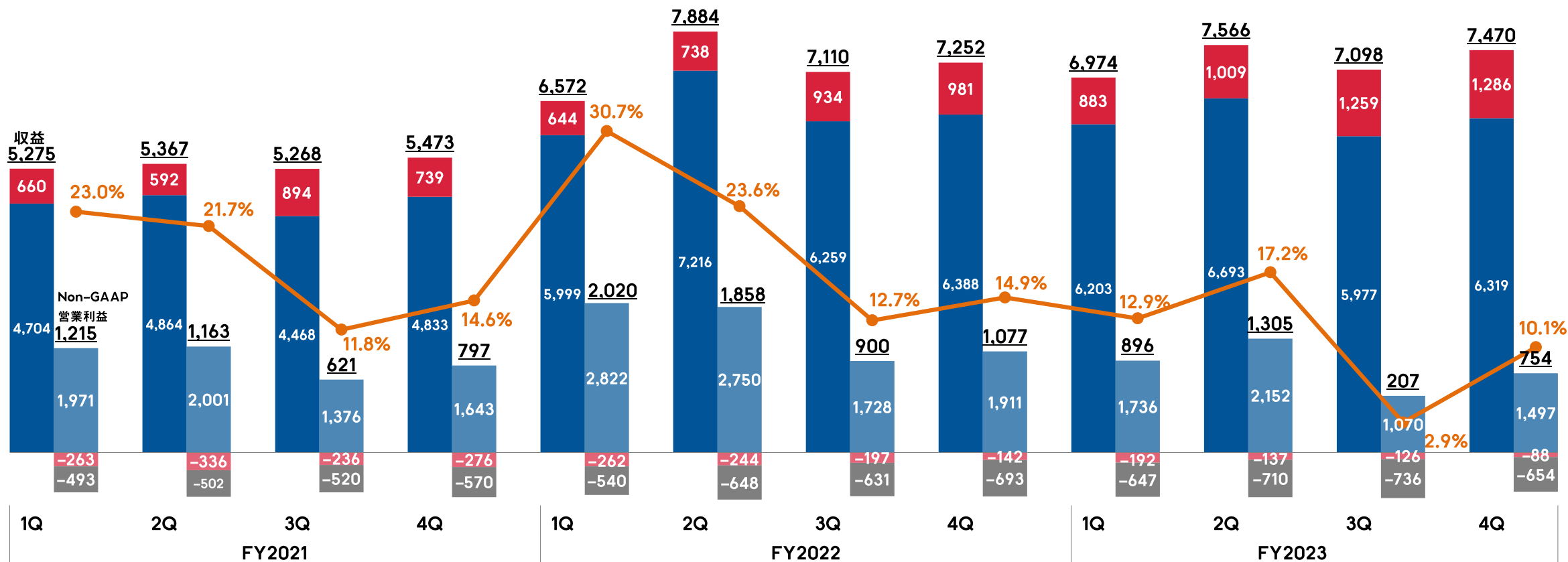
収益が前期比でプラスに反転、 人的投資を強化しながらもコストの見直しにより減益幅が縮小

(単位：百万円)	2023年 12月期 4 Q			2022/9期 4 Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	7,470	100.0%	+3.0%	7,252	100.0%
売上総利益	5,547	74.3%	-0.2%	5,558	76.6%
販売管理費	4,821	64.5%	+6.1%	4,543	62.6%
Non-GAAP営業利益	754	10.1%	-30.0%	1,077	14.9%
営業利益	738	9.9%	-23.6%	966	13.3%
金融収益	51	0.7%	-93.9%	824	11.4%
金融費用	22	0.3%	-78.9%	106	1.5%
持分法投資利益	313	4.2%	+11.1%	282	3.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	738	9.9%	-54.8%	1,632	22.5%
【参考】売上高	34,826	—	+6.7%	32,652	—

13 連結業績四半期推移（セグメント別）

メディアプラットフォーム事業の成長により前期比で増収 前四半期比では両事業セグメントとも増収

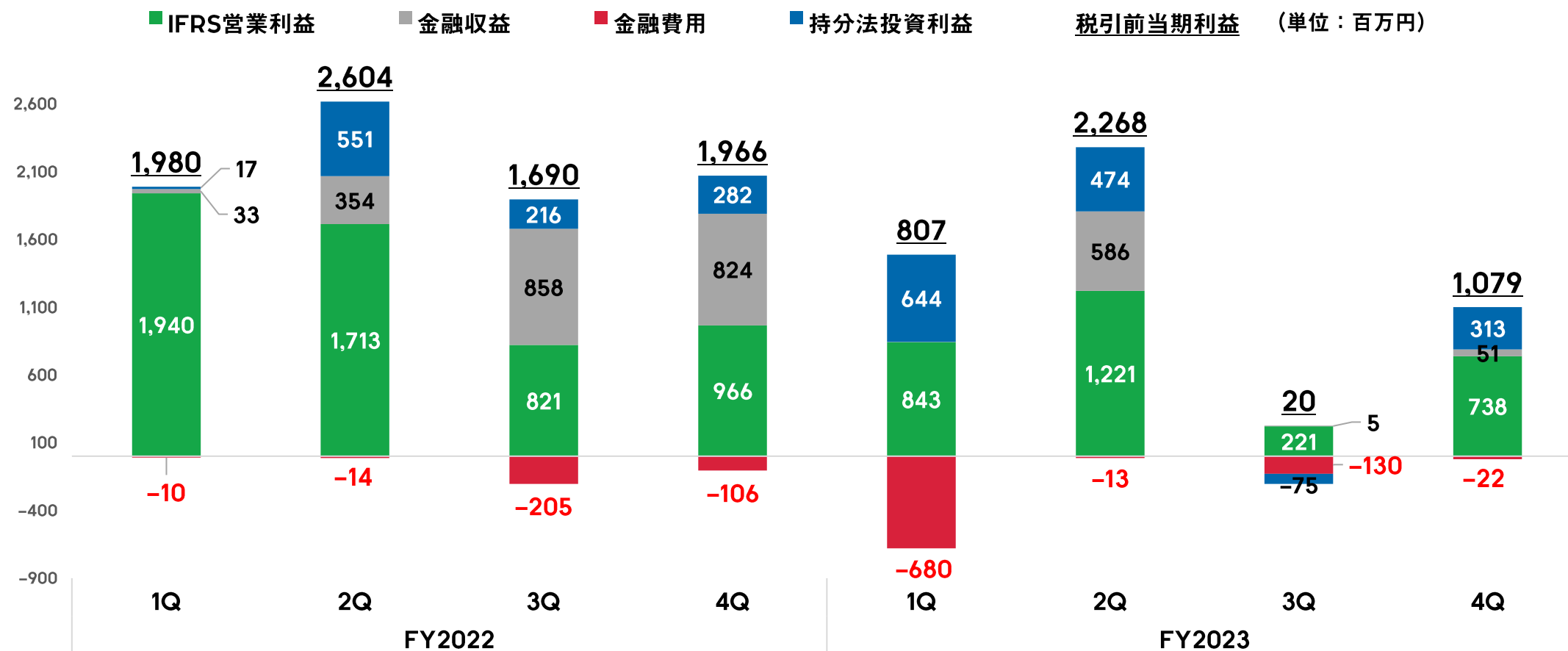
■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円） —●— 営業利益率（対収益）



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

14 連結 税引前当期利益 四半期推移

持分法投資利益が前期比で増加



15 連結費用構成 (IFRS)



IPプラットフォーム事業での電子書籍販売が好調に推移し、
その他原価が引き続き増加

(単位：百万円)	FY2021				FY2022				FY2023				QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上原価合計	1,005	939	1,076	1,079	1,120	1,647	1,637	1,694	1,568	1,762	1,894	1,923	+1.5%	+13.5%
人件費	296	321	347	344	364	366	388	379	393	408	453	442	-2.3%	+16.6%
外注費	240	167	204	244	294	779	632	674	545	659	623	650	-4.4%	-3.7%
その他	468	451	525	491	462	503	617	641	631	695	819	832	+1.6%	+29.8%
販管費合計	3,061	3,380	3,593	3,711	3,447	4,442	4,626	4,543	4,557	4,532	4,988	4,821	-3.4%	+6.1%
人件費 ※1	2,019	2,183	2,230	2,337	2,298	2,825	3,002	2,888	3,000	3,004	3,400	3,312	-2.6%	+14.7%
従業員賞与 ※2	85	285	283	270	169	349	236	183	152	163	155	198	+27.6%	+8.2%
賃借料等	324	321	327	326	266	290	301	312	301	298	311	309	-0.5%	-1.0%
販促費・広告費	184	188	281	242	192	223	280	265	228	190	245	233	-5.0%	-12.3%
租税公課 ※3	35	37	41	60	45	126	124	120	107	107	100	63	-36.6%	-47.6%
その他	415	366	431	476	477	629	683	774	770	769	777	706	-9.2%	-8.8%

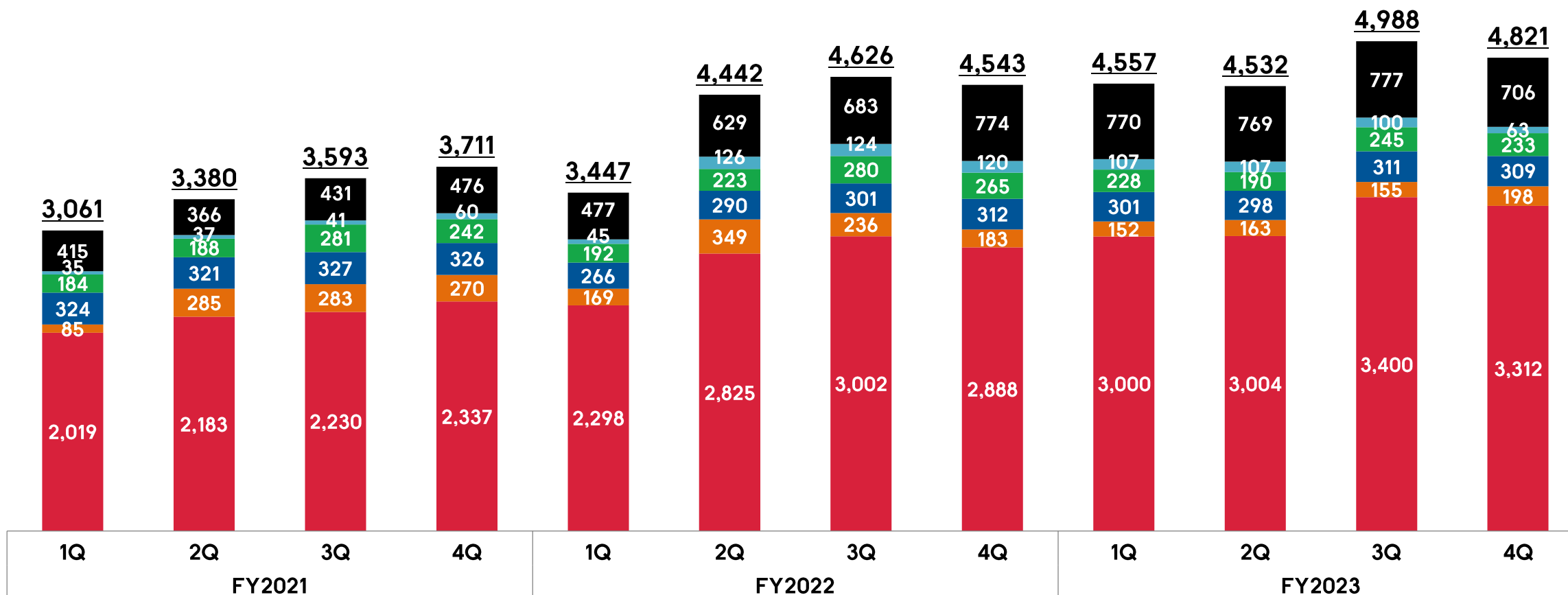
※1 FY2021／2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬（BIP信託）を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

※3 その他に計上されていた科目のうち、租税公課を抜粋して算出

16 連結販管費四半期推移

人的投資の強化により人件費が前期比で増加、
その他の科目は各種コストの見直しにより減少

■ 人件費 ※1 ■ 従業員賞与 ※2 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ 租税公課 ※3 ■ その他（単位：百万円）



※1 FY2021／2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬（BIP信託）を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

※3 その他に計上されていた科目のうち、租税公課を抜粋して算出

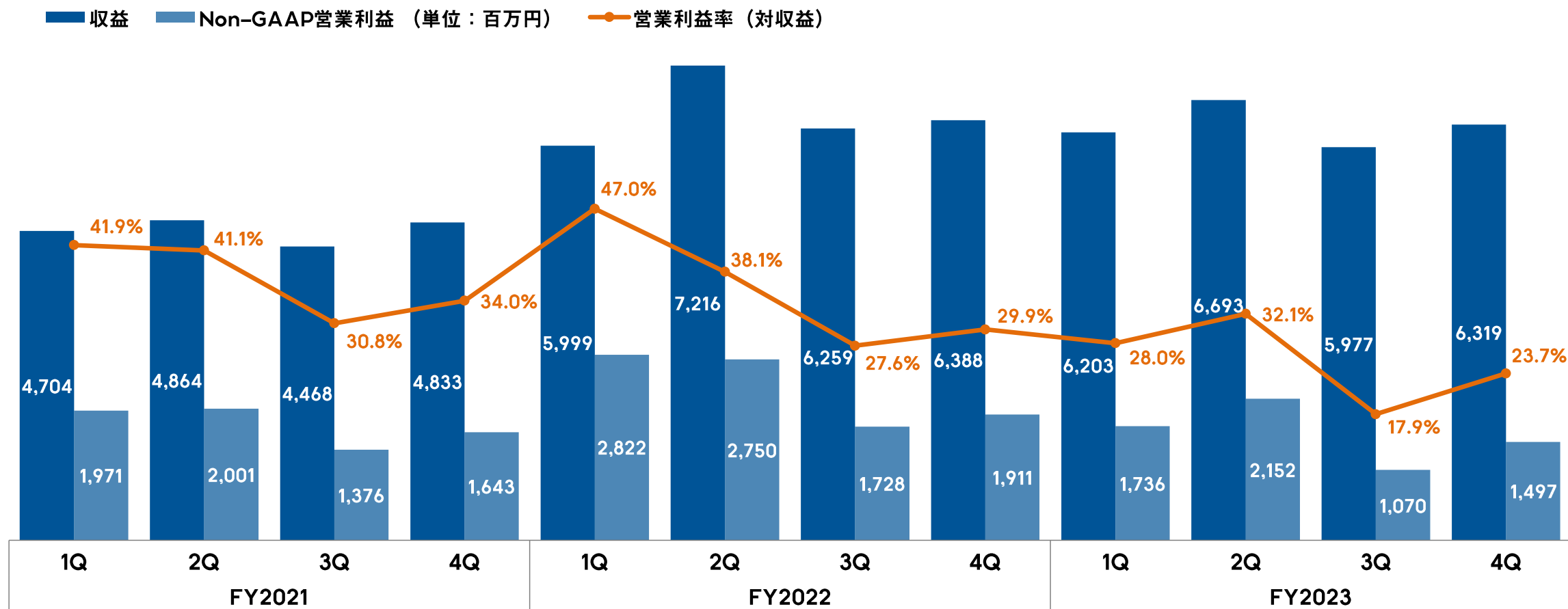
04

デジタルマーケティング事業

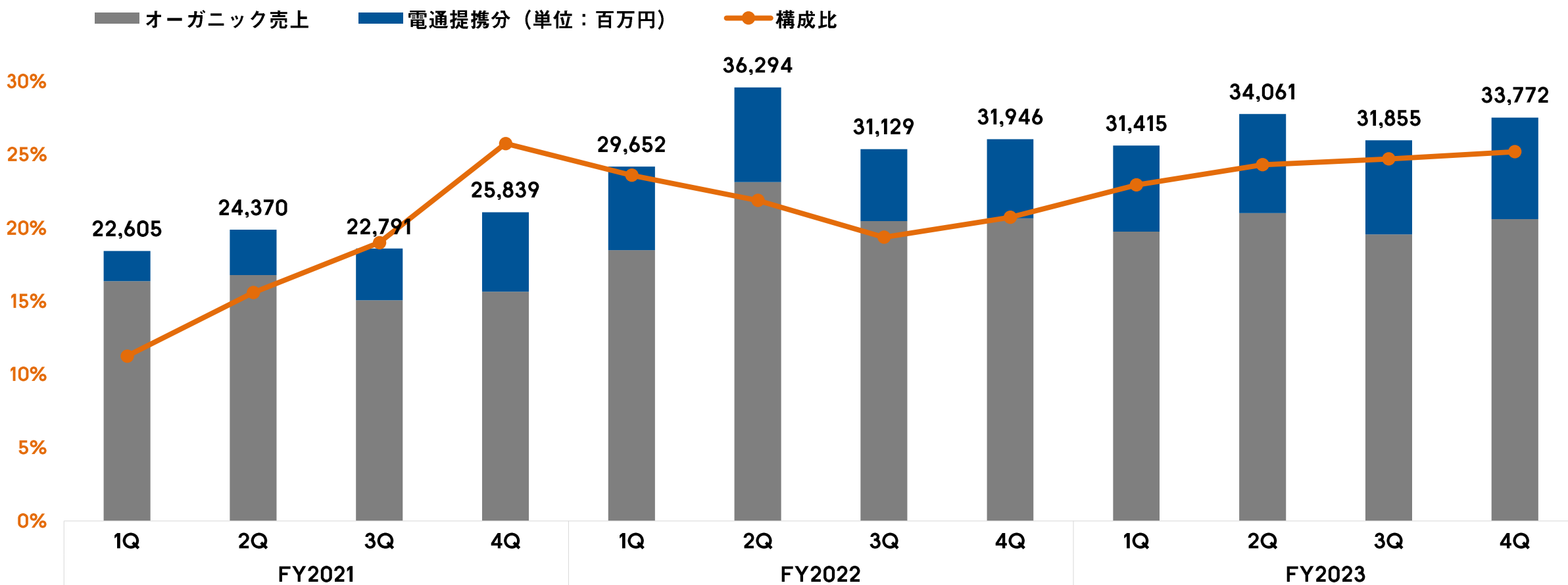
新規顧客の獲得により売上高は前期比で成長、
人的投資の強化による人件費増加を中心に減益

(単位：百万円)	2023年 12月期 4 Q			2022/ 9期 4 Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	6,319	100.0%	-1.1%	6,388	100.0%
売上総利益	5,012	79.3%	-2.3%	5,129	80.3%
販売管理費	3,529	55.8%	+7.8%	3,273	51.2%
Non-GAAP営業利益	1,497	23.7%	-21.7%	1,911	29.9%
【参考】売上高	33,772	—	+5.7%	31,946	—

環境変化による影響が一巡し収益、営業利益ともに3Qを底に反転



既存顧客の拡大と新規顧客の獲得により電通協業売上高は前期比で増加



※FY2022／2Q以降、オーガニック売上に新規連結効果を含む

05

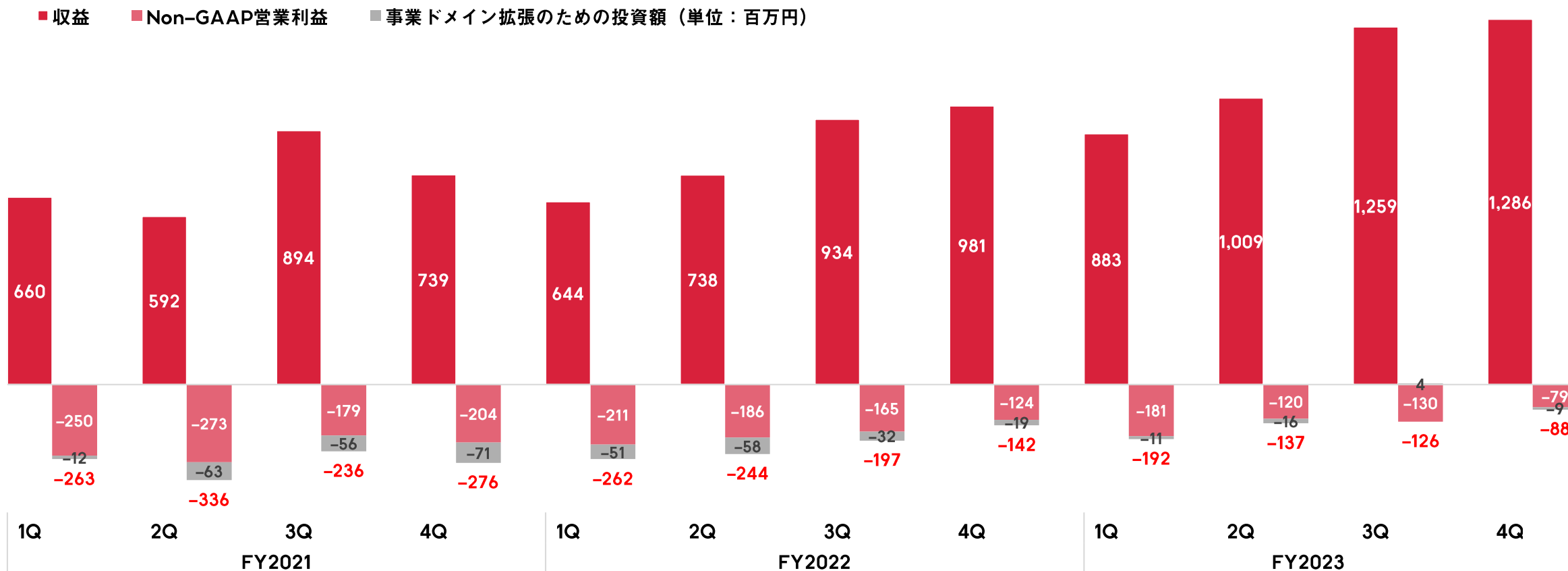
メディアプラットフォーム事業

IPプラットフォーム事業のけん引により増収、赤字幅縮小

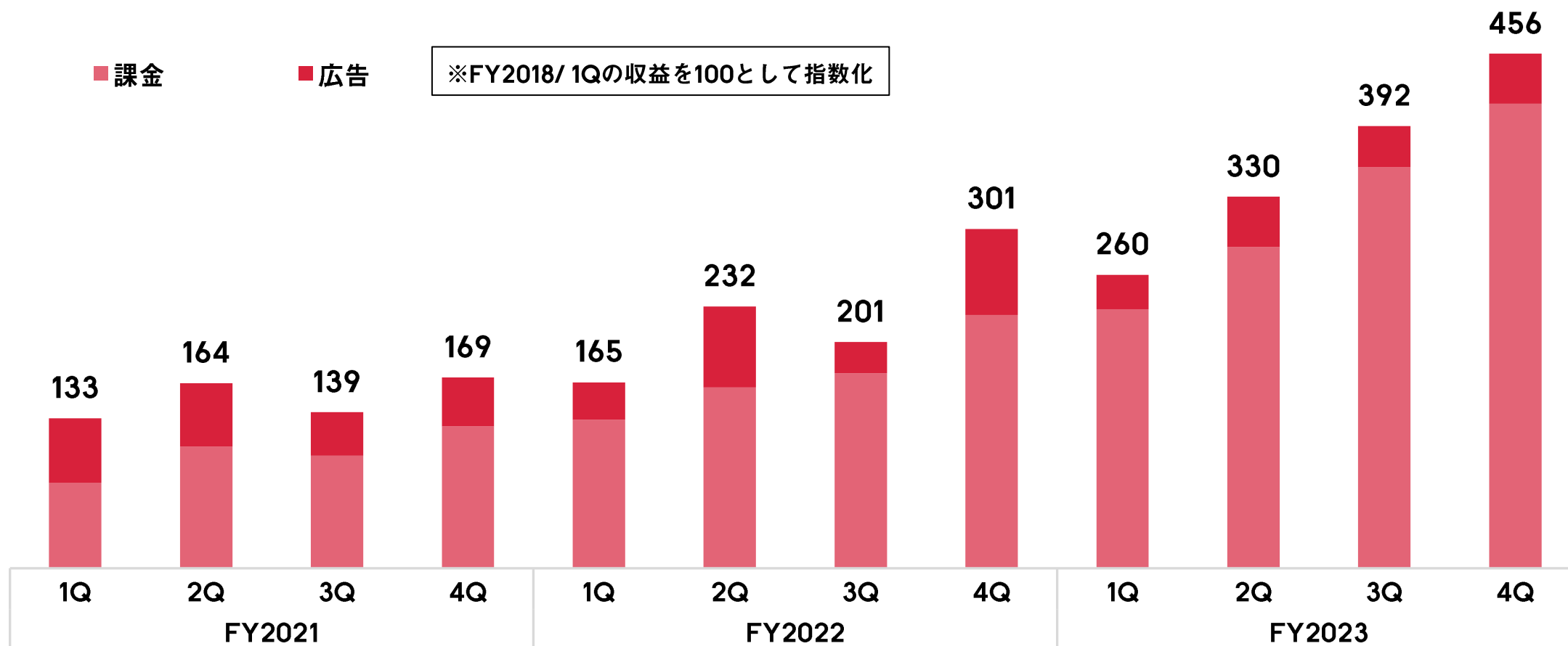
(単位：百万円)	2023年12月期 4 Q			2022/ 9期 4 Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	1,286	100.0%	+31.1%	981	100.0%
売上総利益	668	51.9%	+22.9%	543	55.4%
販売管理費	756	58.8%	+7.8%	701	71.4%
Non-GAAP営業利益	-88	—	+53	-142	—
事業ドメイン拡張の ための投資額※	-9	—	+10	-19	—

※新たな事業セグメントへの拡張と位置付けている事業群の営業損益合計額

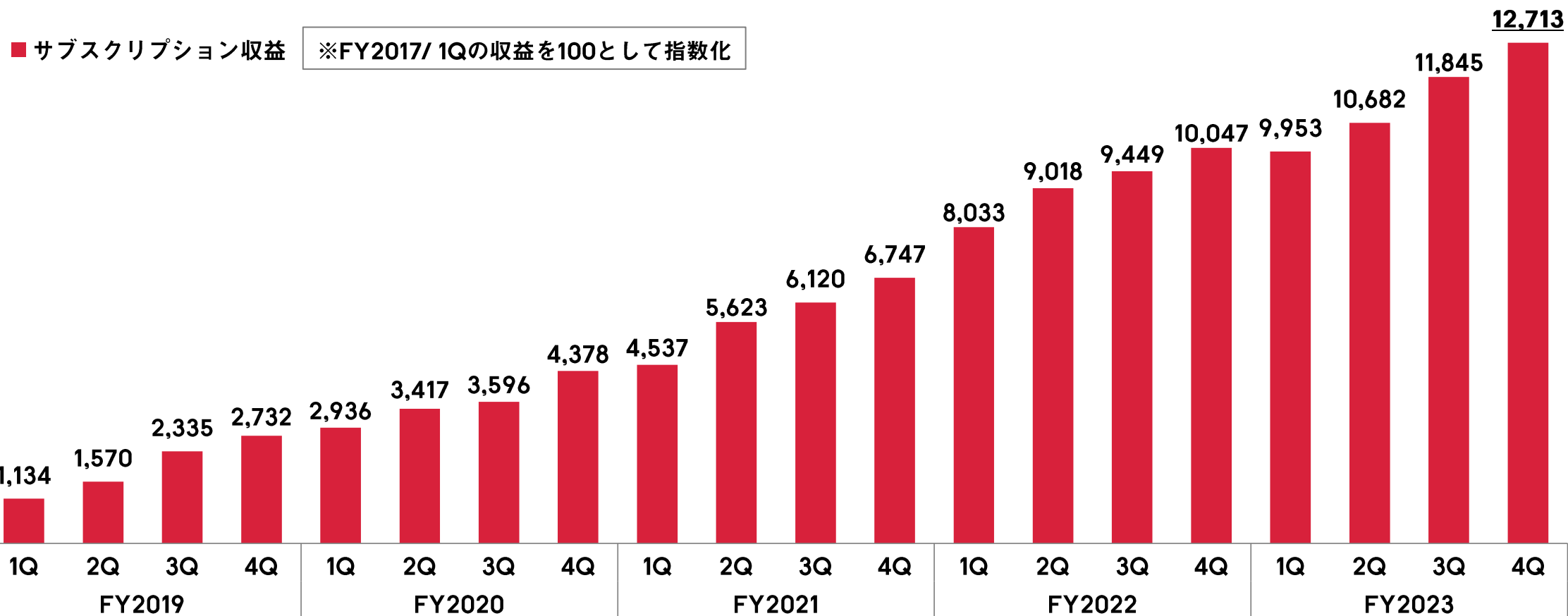
収益は2四半期連続で過去最高を更新



『山田くんとLv999の恋をする』のアニメ放送効果と
電子書籍の販売拡大により、**前期比+50%超の成長**

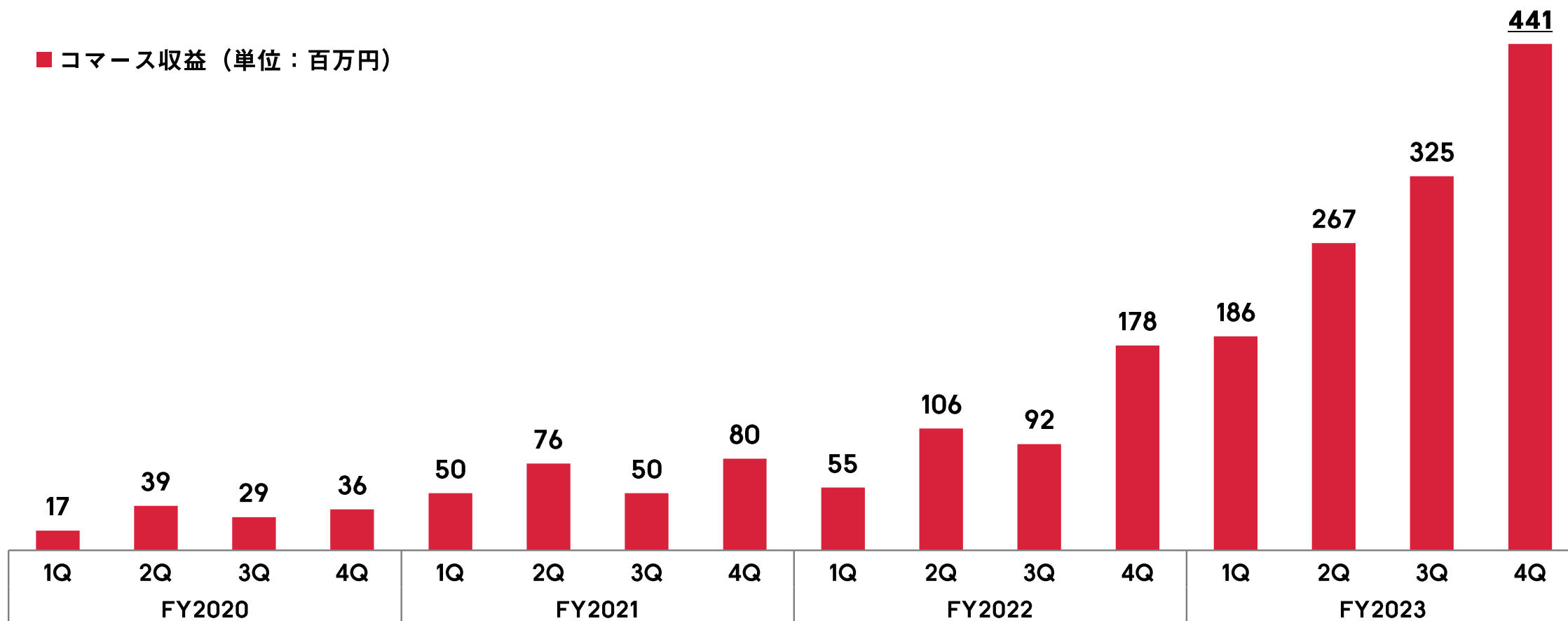


アニメ放送がユーザ数の増加に寄与し、**前期比+26.5%の成長**



電子書籍販売の拡大が継続し、コマース収益は前期比で約2.5倍に伸長

■ コマース収益（単位：百万円）



※コマース収益：電子書籍、クラウドファンディングを合計したコンテンツ販売収益

06

株主還元方針の変更と
業績予想に対する進捗状況

FY2020以降の中期テーマ「ドメインの拡張」

デジタルマーケティング事業：DX支援領域の強化

電通グループとの協業深化による
オンオフ統合サービスの拡大

AIプロダクト、データ・ソリューションサービスの
展開強化

メディアプラットフォーム事業：IPプラットフォーム事業※の成長加速

保有するIP価値の向上

Webtoon制作体制の強化

新たな事業セグメントへの拡張

HRテクノロジー領域の事業成長

エンタメ、スポーツ領域の事業開発を推進

経営基盤の強化

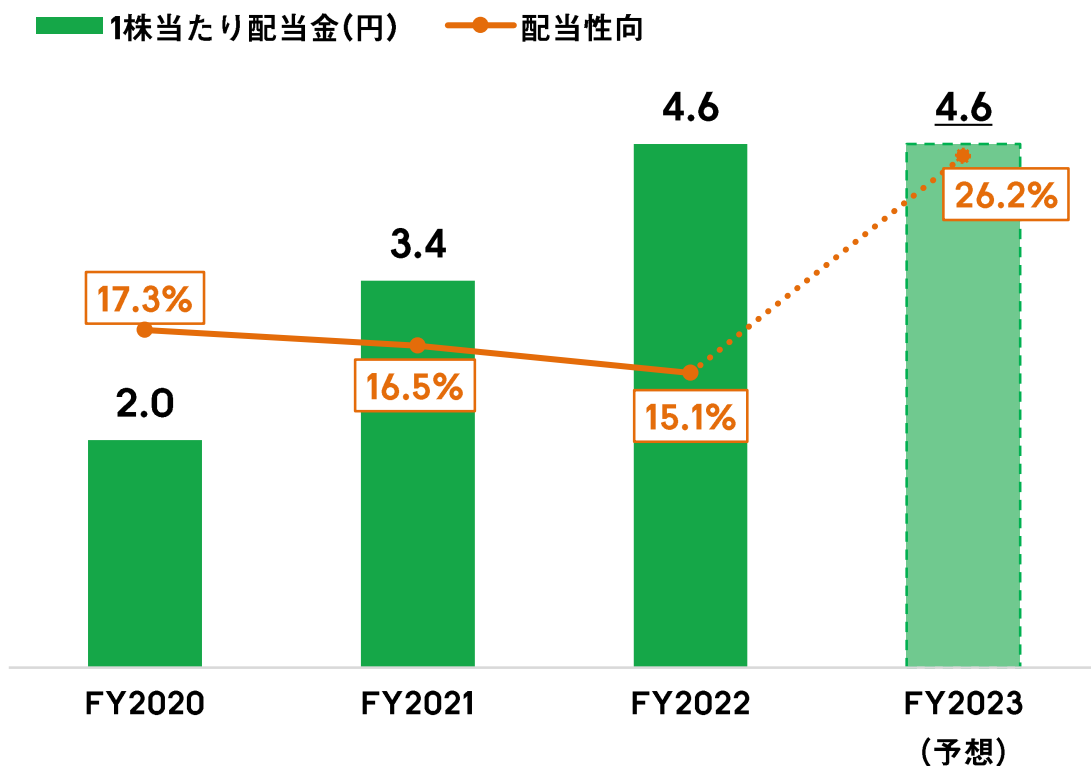
理念体系の改編

人事システムのアップデートによる
人的資本価値の向上

※FY2023より「マンガコンテンツ事業」を「IPプラットフォーム事業」に改称

配当性向を従来の15%から25%へ引き上げ、 今期の1株当たり配当金を4.6円と予想

直近の配当推移



配当方針について

- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向を15% → **25%**へ引き上げ
- ・ 1株当たり配当金の下限を2円 → **3円**とし、配当の安定性を確保

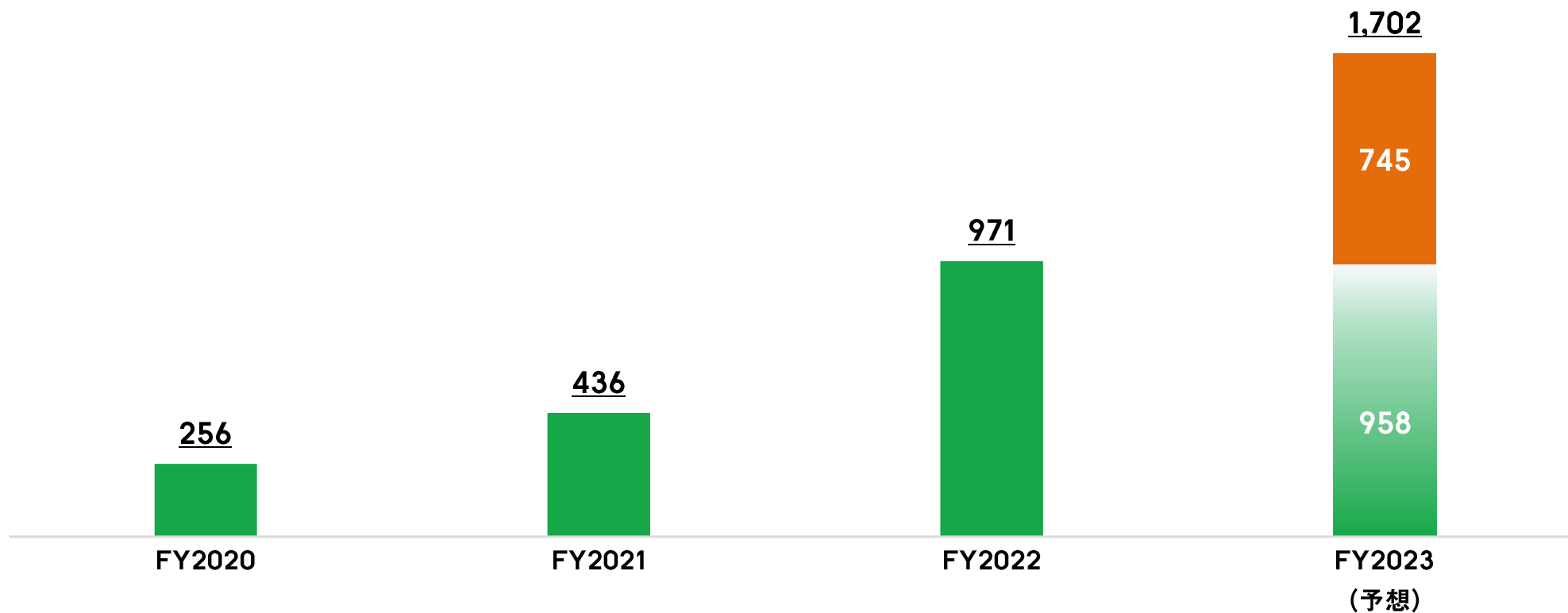
自己株式取得方針について

- ・ 市場環境や事業への投資機会など様々な指標を総合的に勘案の上、継続的に検討し、機動的に実施

期中に実施した自己株式の取得と配当性向の引き上げにより、
総還元額は前期から大きく増加

直近の総還元額の推移

■ 配当総額 ■ 自己株式取得総額 総還元額（単位：百万円）



31 修正後の通期業績予想と配当予想（連結）

(単位：百万円)		2023年12月期 (今期予想・15ヵ月)	(参考) 2022年9月期 (前期実績)
	FY2023/1~4Q		
収益	29,108	36,700	28,819
Non-GAAP営業利益	3,163	4,200	5,855
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,769	3,650	5,734
基本的1株当たり当期利益	13円28銭	17円53銭	30円54銭
1株当たり配当金（円）	—	4.60円	4.60円
配当性向（%）	—	26.2%	15.1%
期中平均株式数（千株）	208,580	—	187,767

32 修正後の業績予想に対する進捗状況（連結・15ヵ月）

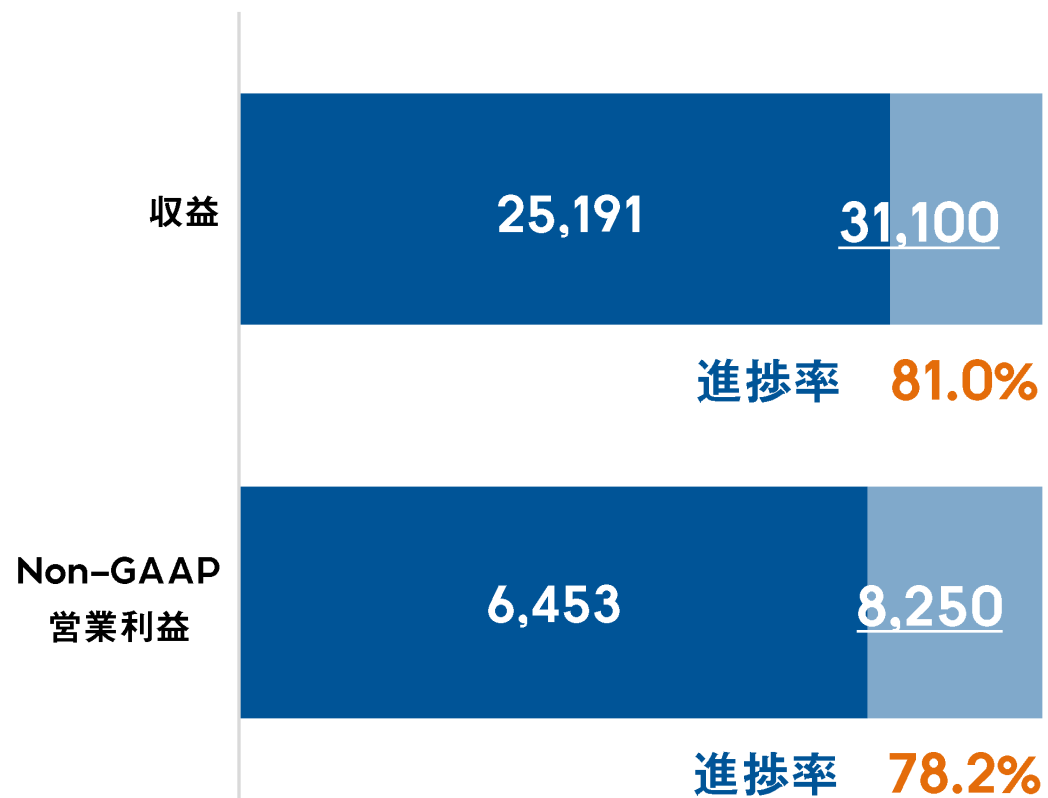
（単位：百万円）



33 業績予想に対する進捗状況（セグメント別・15ヵ月）

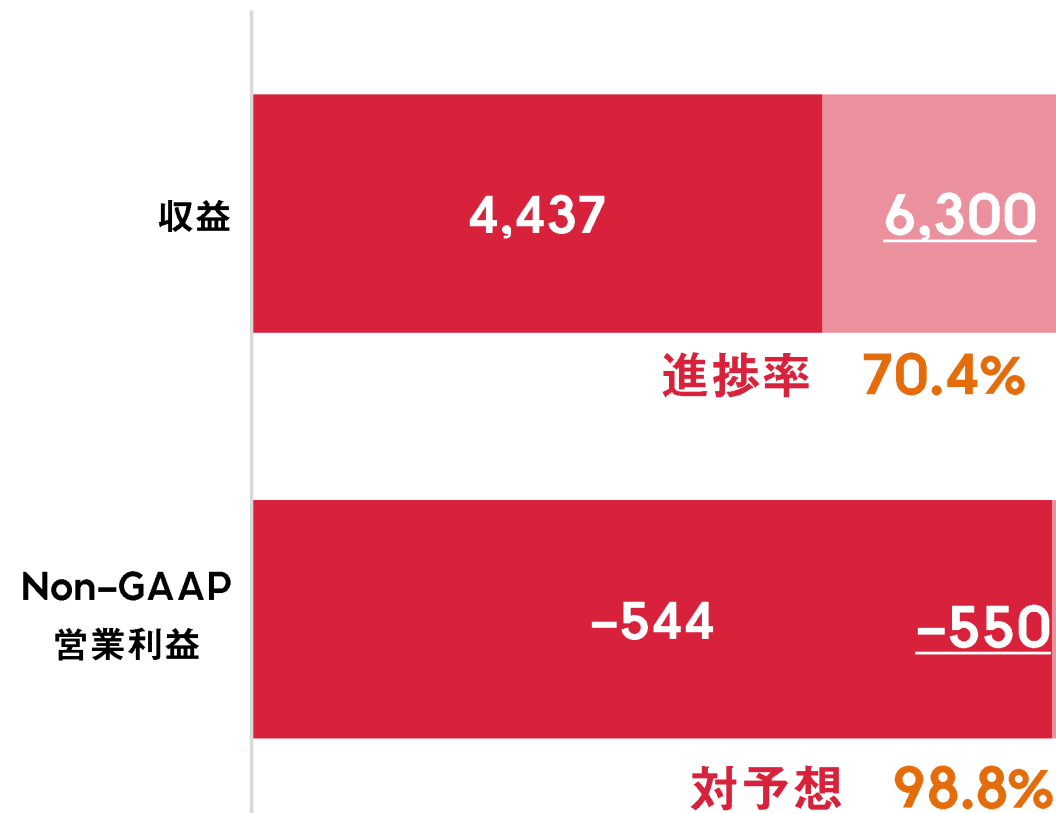
デジタルマーケティング事業

（単位：百万円）

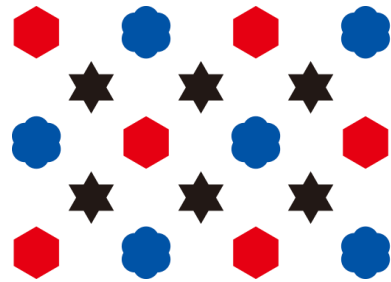


メディアプラットフォーム事業

（単位：百万円）



本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2023年11月9日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

07

補足資料



ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる
クリエイティビティとテクノロジーによって、
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、
デジタルの力で明るくシンプルに

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

社是

ひねらんかい



統合報告書2022

2022年度版統合報告書を発刊しました
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、
事業活動における価値創造の全体像を公開しております

詳細は当社ウェブサイト (https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2022_ja.pdf)
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニグループ公式note

2019年12月よりグループの公式noteをはじめました
統合報告書や開示資料には載せきれていない、
人やカルチャーにまつわる様々な取組みを紹介しています

詳細は以下URL (https://note.com/septeni_group)、
もしくは右のQRコードからご覧ください



持続可能な社会及び当社のミッションの実現に向け、 事業を通じた社会課題の解決に貢献する活動を継続

当社の取組み

SDGs

環境

- ・ 印刷用紙の削減
- ・ 積極的なグリーン購入
- ・ 省資源・省エネルギー施策の実施、リサイクルの推進



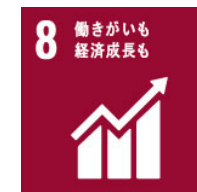
文化・スポーツ・ エンターテイン メント産業の支援

- ・ トップアスリートの採用。アスリートのプロモーションや競技の振興を支援
- ・ プロサッカーチーム、プロダンスチームの支援
- ・ マンガ家の育成支援



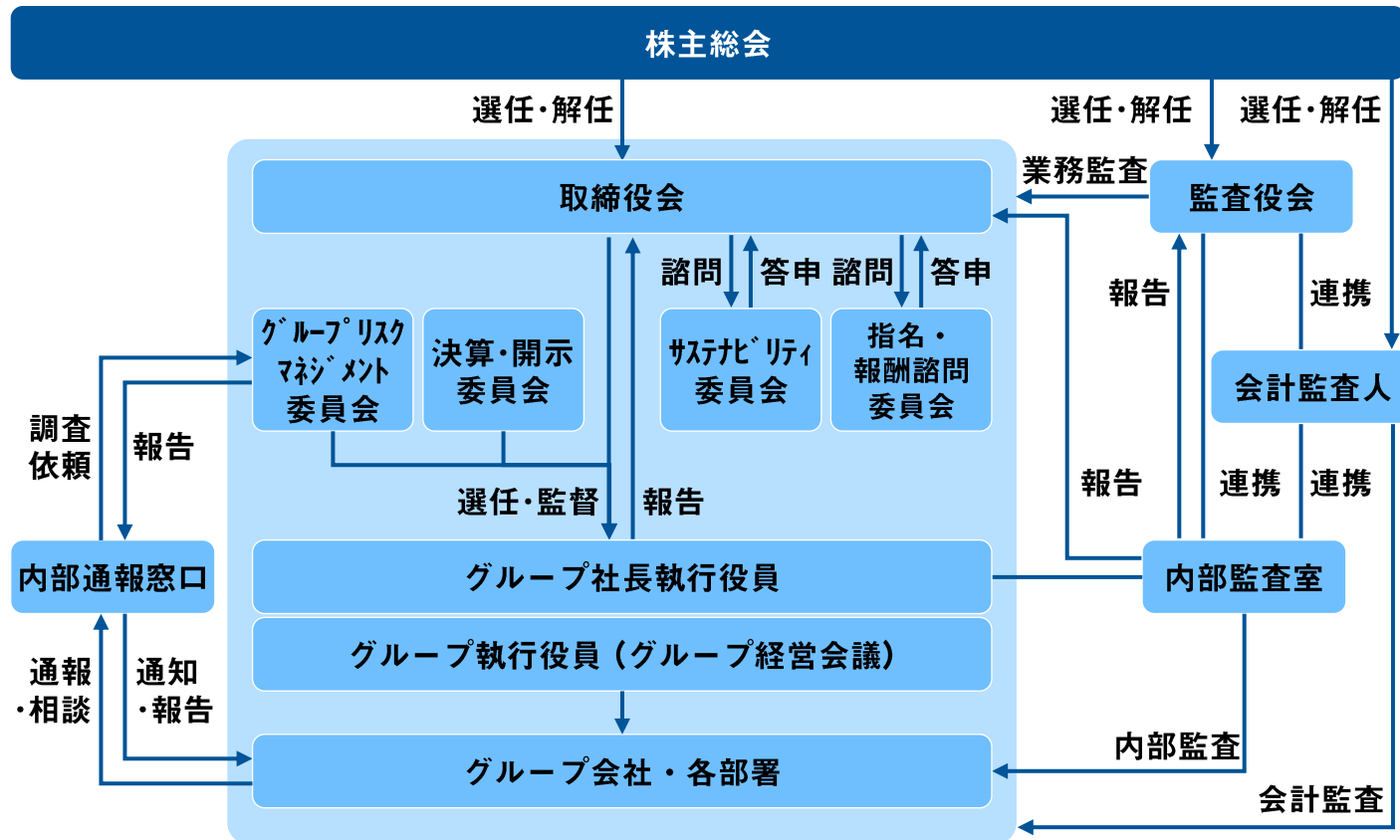
ダイバーシティ & インクルージョン

- ・ 取締役会における女性取締役比率は28.6%
- ・ 女性管理職比率目標を改定：2023年10月までに25%
→2023年10月時点で**26.6%となり達成**
- ・ 育児中の社員に対するサポート、多様な働き方の導入



企業理念に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレートガバナンス体制図



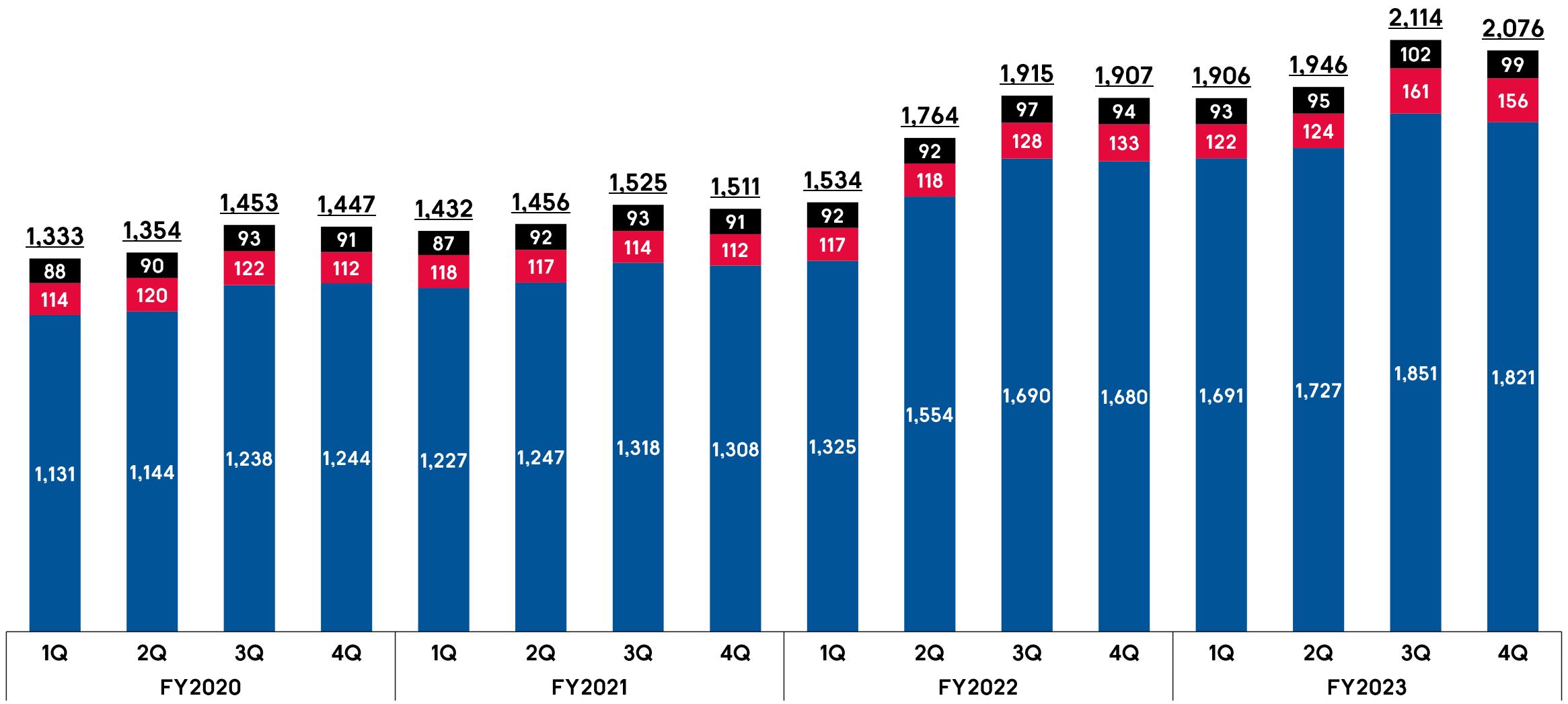
ガバナンス改革の変遷

FY2015	・ 社外取締役を指名
FY2016	・ 取締役会実効性評価を導入 ・ 各種委員会設置によるチェック機能の強化 ・ 買収防衛策の廃止
FY2017	・ 役員向け業績連動型株式報酬制度導入 ・ 委任型執行役員制度の導入 ⇒ 執行と監督を分離
FY2022	・ サステナビリティ委員会の設置、ESGへの意識強化 ・ 取締役の独立性・多様性をさらに強化 (社外比率：71.4%、女性比率：28.6%)
FY2023	・ 指名・報酬諮問委員会を設置

40 連結従業員数推移



■ デジタルマーケティング事業
 ■ メディアプラットフォーム事業
 ■ 持株会社
 （単位：名）



※臨時従業員（契約社員、アルバイト、人材派遣）を含む ※過去の従業員数について軽微の遡及修正を実施

デジタルマーケティング事業

国内広告



データSOL

FLINTERS

海外広告



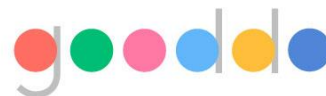
dentsu
direct



メディアプラットフォーム事業



vivivit



TowaStela



その他事業

Human Capital Lab

新規事業創出



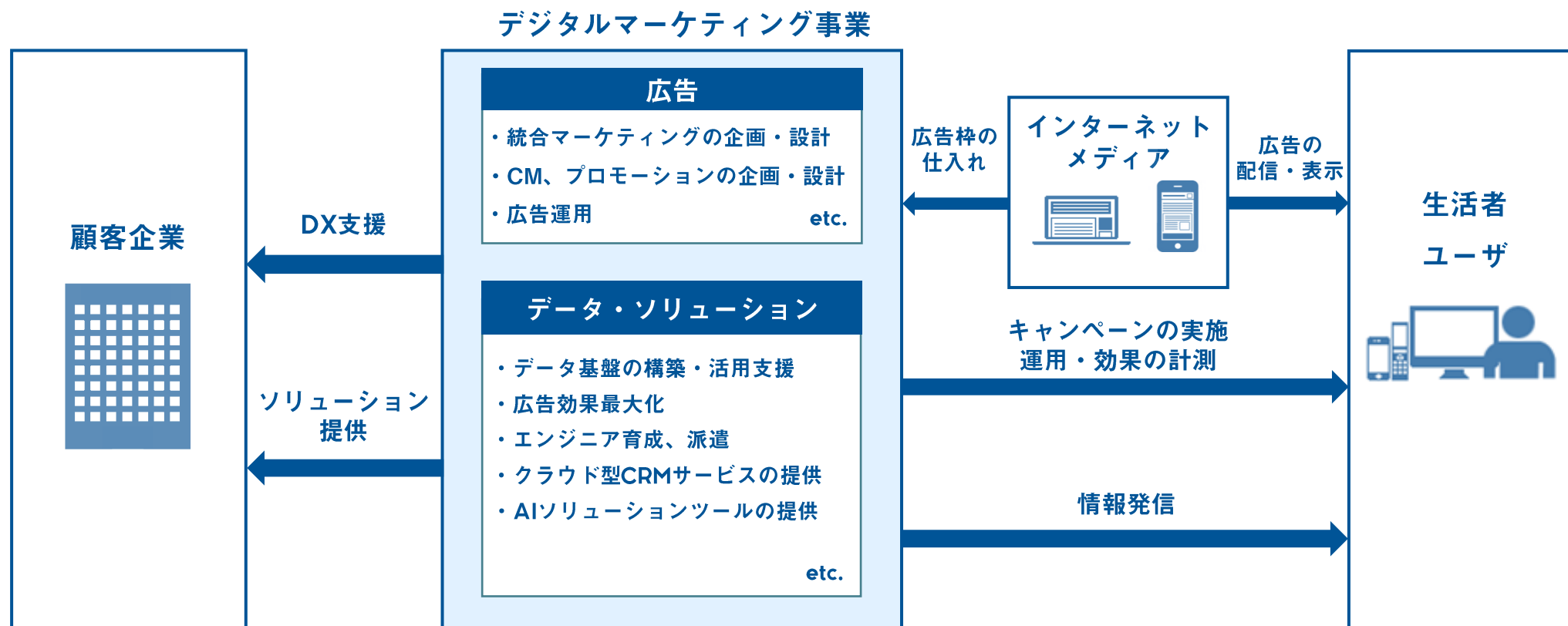
持分法適用関連会社

DENTSU
DIGITAL

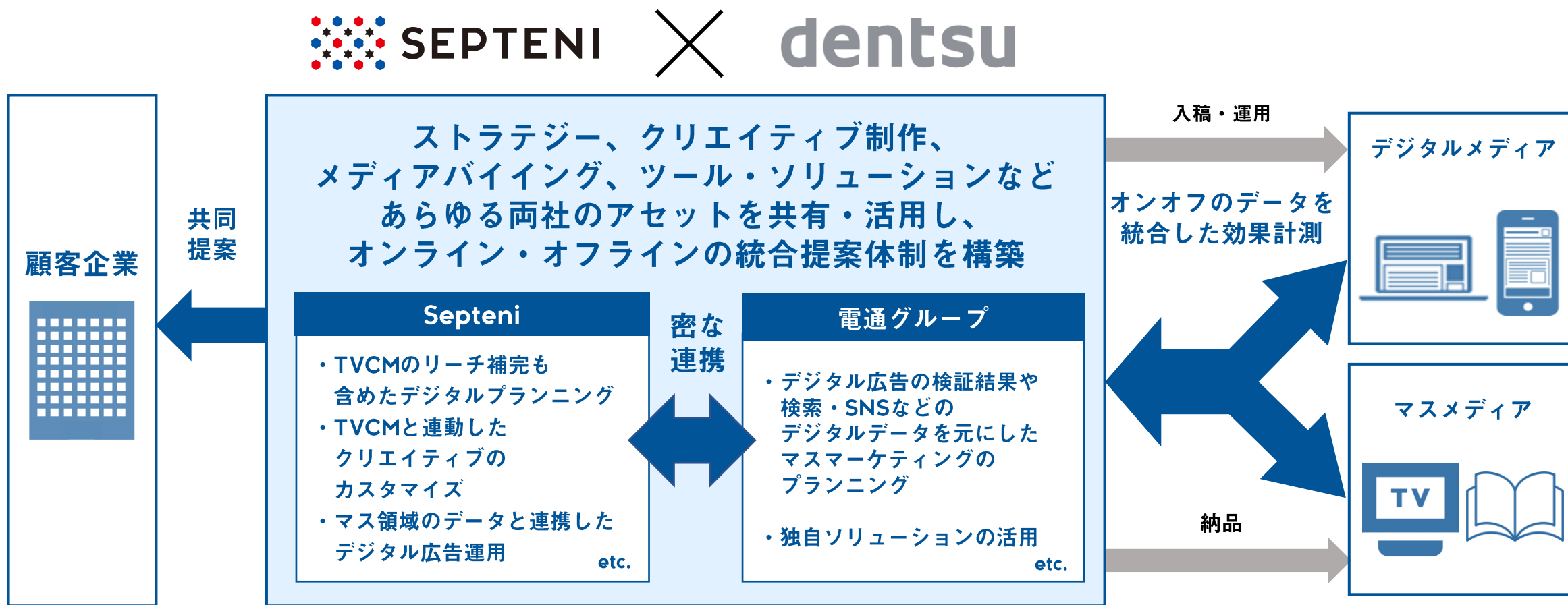
PRIMECROSS & and factory

セプテーニ・ホールディングス（持株会社）

デジタル広告の販売と運用を軸としたオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援やデータ、AIを活用したソリューションの開発・提供等、マーケティング領域を中心に、企業のDXの総合的な支援を行う



両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）



「IPプラットフォーム事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「就職・採用」「社会貢献」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開



(単位：百万円)	2023年12月期 4Q末	2022年9月期 期末	増減
流動資産合計	41,159	40,585	+574
非流動資産合計	49,311	48,146	+1,165
資産合計	90,470	88,731	+1,739
流動負債合計	24,739	25,206	-467
非流動負債合計	1,731	771	+960
負債合計	26,471	25,977	+494
資本合計*	63,999	62,754	+1,245
負債及び資本合計	90,470	88,731	+1,739

* 資本における自己株式が2023年2月17日～3月17日にて実施した自己株式の取得により△745百万円の変動